

令和2年度 学校自己評価表（実施段階）

学校運営計画（4月）		評価（3月）			
学校運営方針	「豊かな心や健やかな体の育成」「新しい学力観に立った学習指導の推進」「キャリア教育を活かした進路保障」「地域に密着した学校づくりの推進」を柱に、総合学科の特長を生かした教育内容を通して生徒一人一人の夢の実現に向け、必要となる確かな学力と豊かな人間性を高く、キャリア発達を促す学校教育を推進する。	A			
昨年度の成果と課題	年度重点目標 豊かな心や健やかな体の育成 具体的目標 時を守り、場を清め、礼を正す生徒を保護者とともに育てる 自己有用感やコミュニケーション力を高め、他者を思いやり良好な人間関係が築ける生徒を育てる				
昨年度は、粕屋町と連携協定を締結するなど地域との連携を深めることができた。本年度も、より地域に密着した学校づくりを進めながら、総合学科の特長を生かせるカリキュラムマネジメントや「主体的・対話的で深い学び」の推進に努め、キャリア教育をより組織的に展開することで、生徒一人一人の自己実現の達成を目指す。	新しい学力観に立った学習指導の推進		確実な学び直しを土台として学力を伸長させる 「主体的・対話的で深い学び」の推進と観点別評価の充実		
	キャリア教育を活かした進路保障		総合学科としてのキャリア教育を全教職員が共通理解のもと実践する キャリア教育を反映した自己実現100%達成を目指す		
	地域に密着した学校づくりの推進		全職員で本校の特長を共有し、その良さを地域に発信していく 生徒が志を持ち、地域や社会に貢献できる力を養う		
	具体的目標	具体的方策	評価	現状での主な課題	
学事推進 (学事部)	教務課	基礎学力の定着 キャリア教育の充実	出席率98.5%以上、出席皆勤者280名以上を目標とし、達成できるように努める。 学び直しに力を入れ、基礎学力の向上を図るとともに単位未修得者0を目指す。 入学から卒業までの学校教育活動全体を見通した効果的なキャリア教育を確立させる。 本校の特色ある教育活動を活かし、生徒の希望進路100%実現を目指す。	A	・昨年度よりも出席率が悪くなったので、次年度は改善できるようにしたい。 ・出席皆勤者280名以上の目標が達成できた。次年度以降も続くようにしたい。 ・無線LAN環境が整備され、来年度からタブレットが本格的に活用できる環境となるため、ICTの更なる推進を推し進める必要がある。 ・コロナ禍で講師招聘や校外研修が無い為、校内の研修力アップを目標に複数の本校職員が講師を務める研修を実施した。来年度は授業アンケートの実施を早め、後期に十分授業改善が行えるようにしたい。
	情報図書課	ICT活用の推進 図書館利用者数の増加	大型提示装置や電子黒板等、ICT機器の利用方法、取り扱いに関する全職員共通理解を図る。 情報機器の定期点検を実施し、各月の情報機器返却率9割をめざす。 新着図書案内、図書館便り、デジタル掲示板、おすすめ本紹介など図書館からの情報発信を年12回以上行う。 生徒図書委員会の活動を充実させ、各学年の図書館利用者数100名以上をめざす。	A	
	研究研修課	「新たな学び」を目指した授業研究 校内研修の充実と校外研修への参加促進	ICT活用や「主体的対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくり推進のための情報共有を図る。 観点別評価を踏まえ授業アンケートの形式を見直し、教員と生徒双方が授業の振り返りを行い授業改善を推進する。 職員の一斉や本校の課題に対応する効果的な校内研修を実施できる体制の充実を図る。 校外研修への積極的な参加を促し、若年教員研修の充実と、若手・中堅以上の教職員の実践力向上につなげる。	A	
生徒育成 (生徒部)	生徒指導課	基本的な生活習慣の確立 安全教育の充実及び社会性の育成	制服を正しく着こなし、場に応じた清潔な挨拶をする習慣の徹底を図る。 安易な遅刻・欠席をなくすとともに、授業規律を確立する。 登下校指導・安全教育を通して、自らが安全確保に努め、交通マナーの向上を図る。 人間関係形成能力を高め、場に応じた態度や行動選択ができる生徒を育てる。	A	・感染症対策への意識が薄れないように定期的に啓発を行っていく。・公共の場での使用の仕方や美化意識の向上に向けて委員会活動の活性化を図りたい。 ・遅刻、欠席について年度当初は低い水準だったが、後期になるにつれ増加傾向にあるので、次年度は持続した指導を行っていく。・交通事故等登下校のトラブルが多かったので、次年度は登下校指導を徹底する。
	保健課	情報の共有化と健康相談活動の充実 学校安全と学校環境の整備	年次からの情報を集約し、必要に応じてケース会議を実施、個に応じた支援体制を構築する。 スクールカウンセラーや学校医との連携を密にし、専門的な立場からの話が聞ける場を企画する。 緊急時の連絡体制の整備及び周知、感染症等に関する情報の収集と予防の啓発を行う。 全職員の協力を得て、担当清掃区域の清掃指導、点検を確実に行う。	A	
進路探究 (進路部)	進路指導課	生徒の希望進路100%実現	模試の実施及び分析を通して、受験に対応した学力の育成を図る。 多様な進路先に合わせた適切なガイダンスを実施し、積極的な進路探索を進める。 課外の充実を図り、生徒が学びに向かう態度を身に付け、進学後も持続できる学習態度の育成を図る。	A	(進路指導課) ・スタディサポートや模試の分析を通して、生徒の学力伸長や進路意識の高揚を図る。 ・課外授業については今年度ごとに工夫をして実施する。 ・AO、推薦型入試については次の対策を強化する。 (職教連携) ・職業教育に関する3か年計画を再検討し、各年次に時期相応のガイダンスや講座を企画・実施する。 (キャリア) ・今年度は、体験型の取組が実施しにくかったが、1年次より“探究”に結びつく活動を組み込むことができた。また、北斗フェスタが総合学科発表会に特化できたので、卒業研究でのPJ活動を他学年へきちんと伝えることができた。
	職業教育推進課	生徒の希望進路100%実現	入試制度の変革に対応し、適切な指導ができるように情報を職員間で共有する。 生徒の実態に即した効果的な就職対策講座・公務員講座を企画・実施する。 応募前職場見学を奨励し、就職後のミスマッチを防止する。 職業教育に関するスケジュールと内容を再検討する。	A	
	キャリア教育推進課	生徒の進路決定に資するキャリア教育の実践	体験型の取組を増やすことで卒業後の自分をイメージできるようにする。 他の進路部と連携し、入学から卒業までの生徒の発達を見通したキャリア教育計画を策定し効果的な実施に努める。 1年次は「産業社会と人間」を通して、進路選択に必要な力を学びとらせる。 2・3年次は「総合的な学習・探究の時間」を通して、将来設計に必要な情報を主体的に収集できる生徒を育てる。	A	
教育企画 (教育企画部)	庶務課	学校行事の円滑な実施 PTAおよび同窓会活動の充実	他の方針と協力して学校行事を企画運営し、さらに良いものとなるよう改善していく。 職員室内の各年次ボード周辺の整理を呼びかけ、職員室内の整頓のリーダーとなる。 PTA各種委員会を確保できるように早めに案内する。 同窓会の活動をサポートし、生徒の学校生活をより良いものにしていく。	A	・次年度も継続して感染症対策を考慮した学校行事の企画立案を行ってみたい。 ・PTA活動が制限される中、総会も含めてどのような形態なら実施できるのかを検討していきたい。 ・感染症対策を考慮した体験入学の実施方法、実施内容を検討し、中学生が参加しやすく、興味を持ってもらえる内容を検討していきたい。
	広報課	広報活動の充実 地域や中学校に向けての正しい情報発信	スクールガイドに加えて新たな広報紙を作成し、総合学科の特長をより多くの中学生や保護者に伝える。 体験入学や学校説明会を充実させ、本校の魅力を効果的にアピールする。 生徒の活力ある様子を広報にPRし、地域からの信頼が深められるよう努める。 学校行事に合わせてホームページを月5回・正門横掲示板を月1回以上更新する。	A	
年次・学級経営	1年次	社会人基準の基本的な生活習慣を確立 基礎学力の定着と3年後を見据えた学力向上 基本的生活習慣の徹底	時間・健康管理を徹底し、計画的な生活リズムを身に付けさせ、有意義な高校生活を送る。 日々の授業を大切に、学習習慣を定着させる。また、PDCAに基づき定期調査や模試に臨ませる。 校則を徹底して守ること、礼儀を重んじること、清掃を徹底して行うこと、入を思いやることを身に付け、規範意識を高める。	A	年次目標に対してほとんどの生徒が達成できている。引き続き粘り強く指導を行い、2年次では自主的な行動選択ができる生徒に成長させていきたい。(1年次) 多くの生徒が成長できているが、一部の生徒が清掃等の活動が不十分であることが17期生の1番の課題である。自分のために努力できる人であってほしいと思う。(2年次) 北斗フェスタに関しては、発表に多くの生徒が取組み、限られた中で自己肯定感の育成ができた。また、進路相談も多くの時間がとれ、多くの年次の職員で取り組めた。進路決定後の指導と緊急下での行事の在り方が今後の課題である。(3年次)
	2年次	学力の向上及び家庭学習の習慣化 身だしなみとマナーの徹底	時を守り、場を清め、礼を正す生活を徹底させる。安易な遅刻・欠席を無くす。 進路目標を明確にすることで、学力向上のための努力を惜しまない。 何事にもチャレンジし、最後まで諦めない素直な心と態度を育成する。	A	
	3年次	個に応じた進路選択とその実現 社会人として通用する規範意識の醸成 生徒個々の自己肯定感を高める	緊張感のある授業を実践するとともに、丁寧な進路相談を実施する。 挨拶・清掃を徹底し、生徒が活力ある学校生活を送り、皆勤・皆勤者を増やす雰囲気を作る。 リーダーシップ、チームワークを学ぶことから、課題解決能力の育成を図ることで、健全な社会性を育てる。	A	
学校事務	教育環境の整備	予算を適切に配分執行して、学校教育を推進する環境作りを努める。	A	A	・予算を適切に執行してきた。